

教科シラバス（工業：情報電子科）

科目名	課題研究	履修学年	履修単位	履修形態	授業形態
		2	2	必履修	一斉
使用教科書・副教材・準備物					
インターンシップ実習テキスト、体験日誌、プリント資料					
科目の概要			学習目標		
産業現場等における体験的実習を通して、勤労の厳しさ、ものを作り上げるための苦労や感動、責任の重さなどを体得するとともに、各学科に関連する知識と技術を総合的、発展的に学習する。			工業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。		
年間学習プログラム					
	学習内容		学習のねらい		
インターンシップに関する学習	<ol style="list-style-type: none"> 1 インターンシップの意義について 2 インターンシップ先の調査・研究と決定 3 インターンシップの事前指導と準備マナー講座 4 インターンシップ実施 5 インターンシップの事後指導とまとめ 6 インターンシップ発表会 		<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップを通して産業や職業の現場を知ることで、自己の将来の生き方や進路を考えさせるとともに、望ましい勤労観や職業観について考えさせる。 ・自分に適している職業や、将来の設計について考えさせ、調査・研究し受入れ先を決定させる。 ・インターンシップの意義と目的を確認させ、安全教育の徹底と就業中の心構えを確認する。 ・産業界の現場での生きた知識や技術・技能を体験し、学校での学習と産業との関係について考えさせる。 ・インターンシップのまとめと意義を考えさせる。 ・体験したことを発表させ、受入れ企業への感謝の気持ちと今後の学習活動にどのように取り入れるか発表させる。 		
評価の観点及び内容					
知識・技術	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業所内での体験において仕事内容をきちんと把握し、理解できたか。 ・事業所内での体験において的確に活動し、周りの社員の人たちに対し協力的であったか。 ・お礼の手紙をきちんとした自分の文章で書けたか。 				
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内での体験において仕事内容を適切に思考・判断して活動することができたか。 				
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップに興味・関心を持って積極的に取り組み、希望する事業所等について自ら調べようとしたか。 ・発表会において体験内容の報告をきちんとできたか。 				
評価方法及びその他留意事項					
5日間のインターンシップ実施事業所での評価(時間厳守、服装、あいさつ、積極性、責任感、協調性など)と、学校での評価(事前指導、お礼の手紙、感想文、発表会等)を合わせ総合的に評価する。					